

科目	ファッション造形基礎
----	------------

担当者 西岡 千代美

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	食品デザイン科・3年・生活デザインコース(選択)
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)			副教材等	なし
授業の概要	1 被服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身に付けます。 2 技術検定の指導要項に従い、検定合格のために学習します。			学習の目標	1 被服製作技術検定和服2級・洋服2級に合格するための知識と技術を習得します。 2 シャツ・ブラウス、じんべいの製作が簡単にでき、応用できる力を身に付けます。
学 習 内 容				評価の観点・評価方法等 (※学期ごとに下記の項目で評価します。)	
1 学 期	○じんべいの製作 型紙準備、裁断、しるし付け、ひも作り、ポケット付け、背縫い、すそ縫い、そで付け、脇縫い、えり付け、ひもつけ、仕上げ ○技術検定和服2級 (じんべい) 準備、練習			関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【趣旨】 ・衣服の役割に関心を持ち、製作することから着装までを総合的にとらえて、計画する意欲と実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価方法】 ・服装、出席、提出物、授業態度や実習への取組で評価します。 【割合】 ・10%
	○シャツ・ブラウスの製作 型紙準備、裁断、しるし付け、縫い代の始末ダーツ縫い、ヨーク・肩縫い、そで付け、そで下と脇縫い、そで口縫い、すそ縫い、えり付け仕上げ ○技術検定洋服2級 (シャツブラウス) 準備、練習			思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	【趣旨】 ・自分自身や家族、地域や季節の衣生活の現状に課題を見つけ思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。 【評価方法】 ・発問に対する解答や感想文、作業において評価します。 【割合】 ・20%
2 学 期				技 能	【趣旨】 ・被服製作、着装などに関する技術を習得できる。 【評価方法】 ・実習や課題によって評価します。 【割合】 ・50%
	3 学 期	3節 着 装 1 和服の着 装 2 和服の種 類と用途			知 識 ・ 理 解
				そ の 他	・学年末の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。
課 題 提 出 物 等	1 小テストやプリントを提出します。 2 長期休業中の課題を提出します。				
担 当 者 よ り	1 授業は実習中心です。 2 作業実習は長期にわたり実施されます。 3 作品の提出日が守れるよう、作業工程ごとに注意しましょう。 4 作品のできばえと共に、作業中の工程を重視して見ますので、実習を大切に真剣に取り組みましょう。 5 技術検定和服2級・洋服2級を受検します。合格を目指して、真剣に取り組みましょう。				